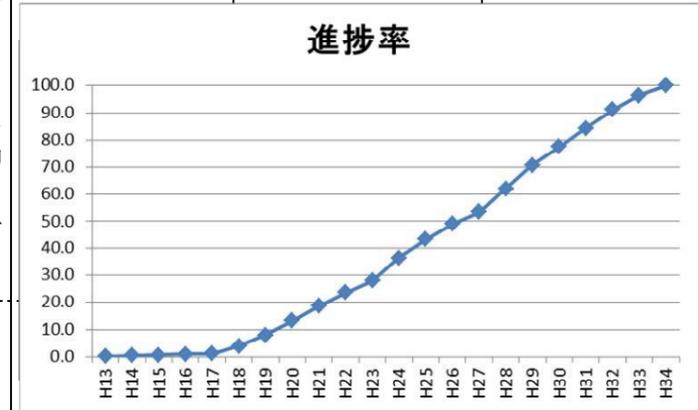


平成 27 年度再評価対象事業
(対象：平成 22 年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間 (5年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)
	再評価 時点 H 2 2	一般国道 4 4 4 号 道路改良事業 (佐賀福富道路) 事業主体：佐賀県 事業地： 佐賀市嘉瀬町中原 ～杵島郡白石町福富	有明海沿岸道路は、福岡県大牟田市から佐賀県鹿島市に至る有明海沿岸地域の各都市の交流促進及び佐賀空港と三池港との連携強化を図る約55kmの地域高規格道路である。 そのうち佐賀福富道路は、有明海沿岸道路の一部を構成し、平行する一般国道 4 4 4 号の交通渋滞及び交通隘路区間の回避を目的とした10.5kmの2車線のバイパスを施工するものである。 有明海沿岸道路については、各市町による期成会や協議会の設立、要望活動が行われるなど、早期整備が望まれている。	全体事業費：414億円 工期：H13～H29 事業内容 延長：10.5km 幅員：10.5(7.0)m 改良工 L=10.5km 橋梁工 4橋(50m以上) 舗装工 L=10.5km 測定 1式 用地補償 1式	H21末進捗率：26% (事業費ベース) (年平均進捗率 3%) ○平成17年度に有明海沿岸道路整備室を設置(佐賀土木事務所内) ○平成20年度に有明海沿岸道路整備事務所を設置 ・平成23年春 嘉瀬南IC～久保田IC間のL=1.7kmを供用開始予定	交通量の推移 ○久保田町搦西 H6 14,345台/日(基準) H9 15,937台/日(1.11) H11 15,713台/日(1.10) H17 18,443台/日(1.29) ○白石町福富 H6 14,908台/日(基準) H9 15,594台/日(1.05) H11 16,342台/日(1.10) H17 18,002台/日(1.21) ○その他社会情勢の変化 ・佐賀福富道路の先線である福富鹿島道路が整備区間に指定(H17.3) ・国で施工している有明海沿岸道路の福岡県側は、一部一般道を利用して、平成21年3月に供用開始を行った。 ・H24年度中に新県立病院が開院予定	事業採択時と比較して費用対効果要因の大きな変化は見られない。 B/C=2.8	コスト削減) ・本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト削減を図る。 ・他工事で発生する残土を本工事の盛土等に流用し、コスト削減を図る。 (代替案の検討) ・特になし	再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H 2 7			全体事業費：580億円 工期：H13～H34 事業内容 延長：10.5km 幅員：10.5(7.0)m 改良工 L=10.5km 橋梁工 4橋(50m以上) 舗装工 L=10.5km 測定 1式 用地補償 1式	26末進捗率：49% (事業費ベース) (年平均進捗率 4%) ○平成23年3月 嘉瀬南IC～久保田IC間のL=1.7kmを供用開始 ○平成25年3月 久保田IC～芦刈IC間のL=2.8kmを供用開始 県道 江北芦刈線のL=4.0kmを供用開始 ○平成27年度末 芦刈IC～(仮)住之江IC間のL=2.0kmを供用開始予定	交通量の推移 ○久保田町搦西 H22 18,842台/日(1.31) ○白石町福富 H22 16,938台/日(1.14) ○佐賀県の人口は減少しているものの、核家族化等により世帯数は増加傾向にあり、自動車保有台数についても年々増加している。 ○また、公共交通機関が充実していない本県においては、移動手段として、自動車に頼らざるを得ない状況であり、自動車への依存度は高い。	・全体事業費増額と工期延伸による費用対効果の減 B/C=1.9	同上	再評価実施後5年が経過	継続 (理由) ・有明海沿岸道路(地域高規格道路)の一部 ・佐賀空港の発展や観光振興等が期待され、地方創生を下支えする道路 ・事業の必要性・重要性は変わっておらず、費用対効果も高い ・以上のことから引き続き事業を継続したい
	理由等			・嘉瀬南IC～(仮)佐賀JCT区間の施工範囲の見直し、軟弱地盤対策関連、六角川の橋梁計画の見直し等による、全体事業費の増額と工期の延伸。 (その他変更なし)						



平成27年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名： 道路課)

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>道路整備交付金事業(防災・安全社会資本整備交付金) 主要地方道 相知山内線(武内工区)</p>
<p>継続理由</p>	<p>計画区間は武内小学校及び武雄北中学校の通学路に指定されており、近隣には製鋼工場や運輸会社があり大型車の通行が多い。 しかしながら、現況は線形不良箇所があり、歩道未設置区間があるため、依然として危険な状況であることから、交通の円滑化と歩行者の安全性向上のため、引き続き事業を継続したい。</p>
<p>B/Cの 算出方法</p>	<p>【 便益 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走行時間短縮便益 = 7.3 億円 ・ 走行経費減少便益 = 2.8 億円 ・ 交通事故減少便益 = 1.0 億円 <li style="padding-left: 20px;">合計 = 11.1 億円 <p>【 費用 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 = 8.6 億円 ・ 維持修繕費 = 0.5 億円 <li style="padding-left: 20px;">合計 = 9.1 億円 <p>費用便益 B/C = 11.1 / 9.1 = 1.2</p> <p>※基準年における現在価値</p>
<p>備考</p>	